

1. 科目名 (単位数)	介護概論 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2109
2. 授業担当教員	武山 梅乗		
4. 授業形態	講義及び演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	高齢者福祉論、社会福祉原論、地域福祉論、ソーシャルワーク論等の関連科目の受講は望ましい。		
7. 講義概要	<p>本講座は、高齢者福祉論との関連において、介護が必要な高齢者に対する支援を中心に進めていく。</p> <p>高齢者の特性と生活について理解を深めたいうえで、生活支援の在り方を考え、介護の実践では、自立への支援、尊厳ある介護の理解を学習し、介護実践の基本を理解できるように授業を進めていく。特に根拠を持った介護実践が行えるように、介護過程と介護実技を学習して理解を深めていく。また、今後増加する認知症高齢者や精神的支援が必要な高齢者の介護についても授業を行なう。</p>		
8. 学習目標	<p>介護概論が終了した時点で、下記について目標達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の特性からくる生活障害や、介護が必要となる状況を理解でき、快適な生活環境を考えることができる。 2. 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要について理解し、介護の今日的課題について考えることができる。 3. 高齢者を支援する専門職の役割の理解と専門職間の連携の在り方を考えることができる。 4. 介護の概念、理念と対象について理解でき、社会福祉士など専門職としての役割と結び付けることができる。 5. 介護は介護過程に基づいて行われることを理解し、専門性について考えることができる。 6. 認知症及び精神的支援が必要な高齢者に対する介護について理解ができ、その応用力を身につけることができる。 7. 終末期の介護を理解し、終末期における尊厳の保持（人間観や倫理）について考えることができる 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業で整理したところから、適宜小テストを行う。</p> <p>適宜、授業内容をまとめる課題レポートを行う。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 『最新・社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉』中央法規出版、2021。</p> <p>【参考書】 授業で適時配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉士を取り巻く状況を理解でき、役割と機能を支えるしくみが理解できたか。 2. 尊厳を支える介護、自立に向けた介護が理解できたか。 3. 介護を必要とする人が理解できたか。 4. 介護サービスが理解でき、介護実践における連携やチームアプローチの心構えについて理解できたか。 5. 介護従事者の倫理の重要性や介護における安全の確保とリスクマネジメントが理解できたか。 <p>○評定の方法 [レポート 授業への積極的参加度を総合的に評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業ノート提出・評価 40% 2. レポート 40% 3. 授業態度 20% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>受講生に期待される学習態度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には自分なりの問題意識や課題を持って、積極的な態度で授業に参加することを望む。 2. 授業のための予習は必ずし、ノートを整理すること。 3. 理解できないことや疑問点がある場合は必ず質問すること。質問することは、学んでいる者にとって決して恥ずかしいことではない。 4. 人が発言している時には、他の受講生は静かに傾聴すること。 5. 授業は、正当な理由がない限り欠席・遅刻・早退をしないこと。 6. レポート等の提出期限を厳守すること。提出期限を守らない場合は、正当な理由がない限り減点の対象となる。 7. 授業中の私語、居眠り、携帯電話の作動、飲食等、学習活動を妨げる行為は厳禁とする。 		
13. オフィスアワー	オフィスアワーは講義時間の前後で受け付ける。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「介護概論」のねらいと単元の解説 テーマ「社会福祉と介護」 介護の概念及び専門性を支える理念、介護の対象者について理解する。社会福祉士が介護を学ぶ必要性について理解する。	事前学習	シラバスを読み授業内容を理解する。
		事後学習	介護の概念理念を理解し、社会福祉士が介護を学ぶ必要性について整理する。

第2回	テーマ「少子高齢社会と高齢者」 超高齢社会における介護の方向性を家族構成や就労、収入、医療の側面から考え、高齢者を取り巻く諸問題について理解する。	事前学習	少子高齢社会と高齢者について考える。
		事後学習	高齢者を取り巻く諸問題について整理する。
第3回	テーマ「高齢者の特性Ⅰ」 高齢期における生活の変化、家族、社会参加、生きがいなどを考え、高齢者の生活に、どのような影響を及ぼすのかまた、どのように適応するのか高齢者の社会的理解を深める。	事前学習	高齢者の生活、家族、社会参加、生きがいなどを考える。
		事後学習	高齢者の特性について整理する。
第4回	テーマ「高齢者の特性Ⅱ」 加齢に伴う身体機能、精神機能の変化から生じる疾病や生活障害を理解し、対応を考える。	事前学習	高齢者の身体的、精神的特性について考える。
		事後学習	高齢者の身体的、精神的特性について整理する。
第5回	テーマ「自立に向けた介護・尊厳を支える介護」 高齢者の自立した日常生活とは何かを考え、高齢者介護のキーワードもある尊厳を支える介護について考える。	事前学習	自立とは、尊厳とは、について調べる。
		事後学習	自立に向けた介護、尊厳をささえる介護について整理する。中間課題レポートを提出する。
第6回	テーマ「高齢者を支援する専門職の役割と連携について」 介護を必要としている高齢者を支援する専門職の役割を理解すると共に、連携の方法について理解する。	事前学習	高齢者を支援する専門職の役割と実際について考える。
		事後学習	専門職の役割、連携について整理する。
第7回	テーマ「介護保険について」① 介護保険制度の基本的知識について理解を深める。	事前学習	介護保険制度について調べる。
		事後学習	介護保険制度の改正点などを含め、理解を深める。
第8回	テーマ「介護保険について」② 介護保険制度の改正点などについて理解を深める。	事前学習	介護保険制度の改正点などを含め、整理する。
		事後学習	介護保険制度についてまとめる。
第9回	テーマ「介護過程」 ICFについて理解すると共に、介護実践を行う上で、最も大切である介護過程の意義と具体的な内容について理解する。	事前学習	ICFについて調べておく。
		事後学習	ICFの分類による介護過程の展開を整理する。中間課題レポートを提出する。
第10回	テーマ「日常生活動作における介護の実践」(1) 身だしなみの介護の方法を理解する。	事前学習	日常生活における身だしなみについて考える。
		事後学習	身だしなみの介護の方法をまとめる。
第11回	テーマ「日常生活動作における介護の実践」(2) 起居動作、移動等の介護の方法を理解する。	事前学習	日常生活における移動、移乗について考える。
		事後学習	起居動作、移動等の介護の方法をまとめる。
第12回	テーマ「日常生活動作における介護の実践」(1) 食事、口腔ケアの介護の方法を理解する。	事前学習	日常生活における食事、口腔ケアについて考える。
		事後学習	食事、口腔ケアの介護方法をまとめる。
第13回	テーマ「日常生活動作における介護の実践」(2) 排泄の介護を理解する。	事前学習	日常生活における排泄について考える。
		事後学習	排泄の介護方法をまとめる。
第14回	テーマ「認知症高齢者に対する介護の実践」 認知症について理解すると共に、実践的な介護の考え方や方法について理解する。	事前学習	認知症について調べておく。
		事後学習	認知症の理解と実践的な介護の考え方や方法について整理する。
第15回	テーマ「終末期ケア」終末期における高齢者や家族について理解すると共に、その支援の実践的な方法を理解する。	事前学習	終末期について考える。
		事後学習	終末期における高齢者や家族について、支援の実践的な方法を整理する。課題レポートを提出する。